

平成 30 年 4 月 4 日

東北生活文化大学
東北生活文化大学短期大学部
安全管理委員会作成

東北生活文化大学／東北生活文化大学短期大学部における Jアラートへの対応について

- エリアメール・緊急速報メールの受信に係る設定の確認／変更について
 - 契約している携帯電話会社及び、携帯電話／スマートフォンの機種によって操作／設定が異なります。各自、契約携帯電話会社等のウェブ・サイトにアクセスし、現在の設定を確認後、必要に応じて設定を変更して下さい。
 - ☆ 携帯電話四社の「エリアメール・緊急速報メール」に関するサイト
 - NTT docomo
 - <https://www.nttdocomo.co.jp/iphone/support/guide/service/areamail/>
 - ソフトバンク
 - https://www.softbank.jp/mobile/service/urgent_news/howto/
 - au
 - <https://www.au.com/mobile/anti-disaster/kinkyu-sokuho/>
 - Y!mobile
 - http://www.ymobile.jp/service/urgent_mail/
- 避難の基本方針
 - Jアラート発令後、着弾までの時間については、10分～15分と予測する専門家が多数を占める中、3分程度という見解も目にします。避難には速やかさが求められることから、「津波てんでんこ」に倣い、構内放送等による避難指示を待たずに、各自が周囲の学生、教職員を伴い自主的に避難行動を開始して下さい。
- 「ミサイルが発射された」ことを知らせるアラートが発令された場合の避難場所／避難行動について
 - Jアラート発令時の避難場所
 - 内閣官房「国民保護ポータルサイト」が避難場所の一例として上げる鉄筋コンクリート製建造物の内部とします。
 - 避難行動の3パターン
 - 鉄筋コンクリート製の建造内でJアラート発令を確認した場合と鉄筋コンクリート製建造物外でJアラート発令を確認した場合、建造物の一部が鉄筋コンクリート製の場合の3パターンを想定し、①その建造物内にて避難するパターン、②鉄筋コンクリート製の建造物内部まで移動するパターンと③その

建物の一部（鉄筋コンクリート部分）に移動する3パターンがあります。

➤ パターンA（鉄筋コンクリート製の建造物内部でJアラートの発令を確認した場合）

☆ 鉄筋コンクリート製の建造物（1号館、2号館、3号館、5号館、6号館、実験棟、短大棟、100周年記念棟、80周年記念棟、大学・短大図書館、エネルギーセンター）の内部で、Jアラートの発令を確認した場合は、その建造物内に留まり、窓及びドアを閉じ、可能な限り窓／ドアから離れ、避難解除の指示を確認するまで、その建造物内に待機して下さい。

➤ パターンB（屋外または鉄筋コンクリート製以外の建造物内部でJアラートの発令を確認した場合）

☆ 屋外または鉄筋コンクリート製以外の建造物（大学陶芸工房、壁画工房、4号館、造形演習工房、壁画研究室、大学・短大クラブハウス、同窓会館、顕彰館、絵画研究室）の内部でJアラートの発令を確認した場合は、速やかに近隣の鉄筋コンクリート製の建造物内部に移動し、窓及びドアを閉じ、可能な限り窓／ドアから離れ、避難解除の指示を確認するまで、その場に待機して下さい。

➤ パターンC（一部が鉄筋コンクリート製の建造物の内部でJアラートの発令を確認した場合）

☆ 体育館内でJアラートの発令を確認した場合は、体育館トイレ前の通路付近に移動し、窓及びドアを閉じ、可能な限り窓／ドアから離れ、避難解除の指示を確認するまで、その場に待機して下さい

☆

- 参考：内閣官房国民ポータルサイト-Q&A

<http://www.kokuminhogo.go.jp/shiryoku/nkjalertqa.html>